



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'97 11月号



## 寄贈品コーナー

「現生と化石の貝 - 高木コレクションと大磯の化石 - 」

期間：11月1日(土)～11月29日(土)

日本列島の貝類には、暖流の黒潮の影響下で生息するものと、寒流の親潮の影響下で生息するものがあります。ここでは最近寄贈された高木コレクションから、寒流系と暖流系の貝類を紹介いたします。高木コレクションは、高木俊男氏より寄贈された現生貝類と化石貝類のコレクションで、収集された範囲は全国各地に及び、北海道の寒流系の貝類が多くを占めています。現生標本420種類、化石標本260種類、総計2650点程あり、現在まだ整理が進行中です。氏は化石を研究するために、各地の現生種を比較のため収集され、なかでも、イタヤガイ科・カガミガイ類・エゾバイ科などを多量に収集されました。この中には、高木氏自身が新種として記載されたトミカワカガミガイも含まれており、極めて貴重な資料といえます。相模湾の貝類と比較するにも良い資料となります。

また、今年、大磯町虫窪で日本道路公団によって現在行われている小田原厚木道路工事現場から二宮層の化石が多量に得られましたので、併せて紹介することにしました。かつての相模湾の貝類化石を、高木コレクションと比較して見てください。

# 『星空の歳時記』

期間：11月15日～2月1日

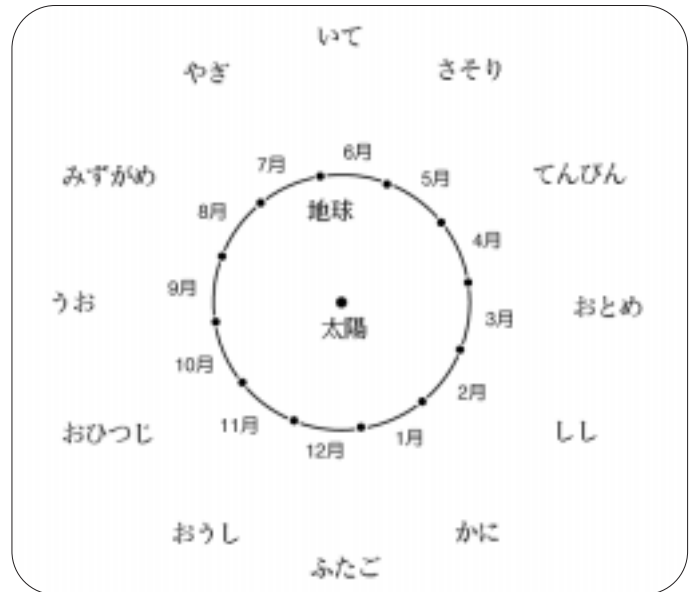
「わたしの星座が出てこなかった！」

プラネタリウムの投影のあと、ときどき小さなお客さんに言われることがあります。「わたしの星座」というのは、星占いの生まれ月の星座のことです。じつは、生まれ月の星座は、その誕生日のころには見られません。誕生日とは反対の季節の夜空で見られるものなのです。

星占いのことはあまりくわしく知らないのですが、「座生まれ」というのは、生まれた時に太陽がどの星座にあるか、ということで決まるそうです。そこで、その星座は誕生日のころには太陽といっしょに昼の空にあるため、夜空にはないということになります。「自分の星座」は、誕生日の反対の季節から次の季節くらいが見やすい、と考えておけばよいでしょう。

このように、星座は季節によって見られるもの見られないものがあり、見える時間帯も変わります。11月15日からのプラネタリウムでは、星空と季節の関係を解説します。私たちは、花や生物や気象など、さまざまな自然に季節の移り変わり見ることができですが、もうひとつ、それに天文を加えて、季節の味わいを広げてみませんか？

最後に、蛇足ですが、星占いの「星座」というのは星座をもとにして1年間の太陽の経路を12等分したもので、実際の星座の範囲とはやや異なります。しかも「歳差」という現象のため、星占いの仕組みが確立された時代とは、実際の星座の位置が1ヶ月ぶんくらいずれてしまっています（つまり、いて座生まれの人が生まれた時、太陽はいて座にいないことのほうが多いです）。この「ずれ」のおかげで、あなたの誕生日に、「あなたの星座」が、日没後早い時間になら、西の空低いところに見られる場合もあります。おひつじ座、おうし座、ふたご座などはかなり有望です。挑戦してみてくださいはどうでしょう？



## プラネタリウム投影日の御案内

投影日：毎週土曜、日曜（休館日をのぞく）

毎月第2・4土曜日は高校生以下の方は無料となります。

開始時刻：11：00 14：00

観覧料：100円

## 貴重な植物学の書籍が寄贈されました

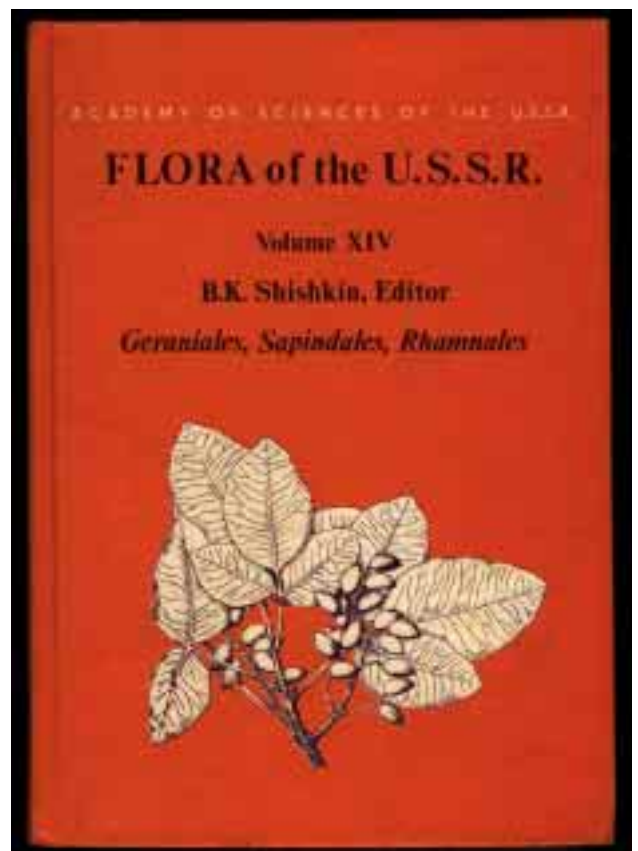
博物館には、毎日のように多くの市民の方々から資料が寄贈されています。生物分野では、最近、まとまった植物学の書籍の寄贈があったので、ご紹介します。

今年9月に、藤沢市在住の小原敬氏から、約120冊の本が寄贈されました。その中には、ヨーロッパの植物誌、旧ソ連邦の植物誌などの貴重な文献が含まれています。最近増えている帰化植物の素性を調べあげるには、こうした外国の文献が欠かせないので、これからおおいに活用できそうなものです。また、旧満州の植物図鑑のように、現在では入手が非常に難しい文献も数多く含まれています。

小原氏は、特に植物の研究史に深い造詣を持っておられる方で、1988年に刊行された「神奈川県植物誌」でも県内の研究史をまとめておられます。今回の寄贈は、今まで参考とされていた文献を後進の指導に役立てるようにと、県立生命の星・地球博物館などとともに、平塚へも頂くことになったものです。

また、昨年11月には、花水台に在住されていた故内田藤吉氏のご遺族から、約60冊の書籍が寄贈されました。その中には、国内の植物の詳細な分布図なども含まれており、研究に役立つものです。内田氏は、生涯の趣味として植物の研究に打ち込まれ、特に早池峰山、南アルプスなどの高山植物の探索に熱心に取り組まれていました。同氏からは、そうした探索のうちに撮影された約2万点にのぼる膨大な植物のカラーライドも寄贈され、館の展示などにいかされています。

こうした書籍や写真は、博物館にとって実物資料と同じように、大きな財産になります。いらなくなった文献や学術雑誌などの扱いに困っておられる方がおられれば、ぜひ一度ご相談ください。(浜口)



# 博物館カレンダー

## 11月の行事予定

1	土	天体観察会（星雲星団）	（大磯）
2	日	民俗探訪会 地質調査会	
8	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会 考古学入門 ◎ 漂着物を拾う会	
9	日	相模川の生き立ちを探る会	（箱根）
13	木	石仏を調べる会	
15	土	地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会 プラネタリウム「星空の歳時記」2月1日まで	（館内）
16	日	古代遺跡を探す会	
19	水	裏打ちの会 地質調査会	
22	土	古文書講読会	
27	木	石仏を調べる会	
28	金	◎ 星を見る会（秋の星座）	
29	土	考古学入門	
30	日	◎ 自然観察会	（鷹取山）

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

## 12月の行事予定

6	土	◎ 天体観察会（変光星）	
7	日	民俗探訪会	
10	水	地質調査会	（館内）
11	木	石仏を調べる会	
13	土	◎ こども観察会 古文書講読会 平塚の空襲と戦災を記録する会 ◎ 特別展「平塚の星空写真展」2月1日まで	（館内） （館内）
14	日	相模川の生き立ちを探る会	（百蔵山）
17	水	裏打ちの会	
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会	（館内） （館内）
21	日	◎ 体験学習「お飾りを作ろう」 古代遺跡を探す会	
25	木	石仏を調べる会	（館内）
26	金	◎ 特別展関連行事「星を写そう」	

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ●自然観察会

「秋の丘陵に行く」

期日：11月30日（日）

場所：鷹取山周辺

申込：11月20日までに往復ハガキで。

### ●寄贈品コーナー

「構之内遺跡」

平成2年度に行われた、奈良・平安時代の遺跡の発掘調査の成果を紹介します。

会期：12月2日（火）～12月27日（土）

### ●特別展「平塚の星空写真展」

博物館で収集された星や星座、平塚で見られた天文現象などの写真を展示します。

会期：12月13日（土）～2月1日（日）

場所：博物館特別展示室

### ●体験学習

「お飾りを作ろう」

正月の一文飾り、輪飾り、玄関飾りなどを作ります。

期日：12月21日（日）

場所：博物館

申込：12月10日までに往復ハガキで。定員50名。

### ●第9回子ども観察会

「落ち葉を調べよう」

期日：12月13日（土）

場所：吉沢

申込：12月5日までに往復ハガキで。定員30名。

（小中学生およびその保護者に限る）

申込多数の場合は抽選とします。

**あなたと博物館**

22巻 8号 通巻249号 発行 平塚市博物館 3000

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949